

特31
636

明治六年癸酉六月新鑄

增補世界風俗往來
初編

鍾氏藏版 弘文堂發兌

世界風俗往來
序



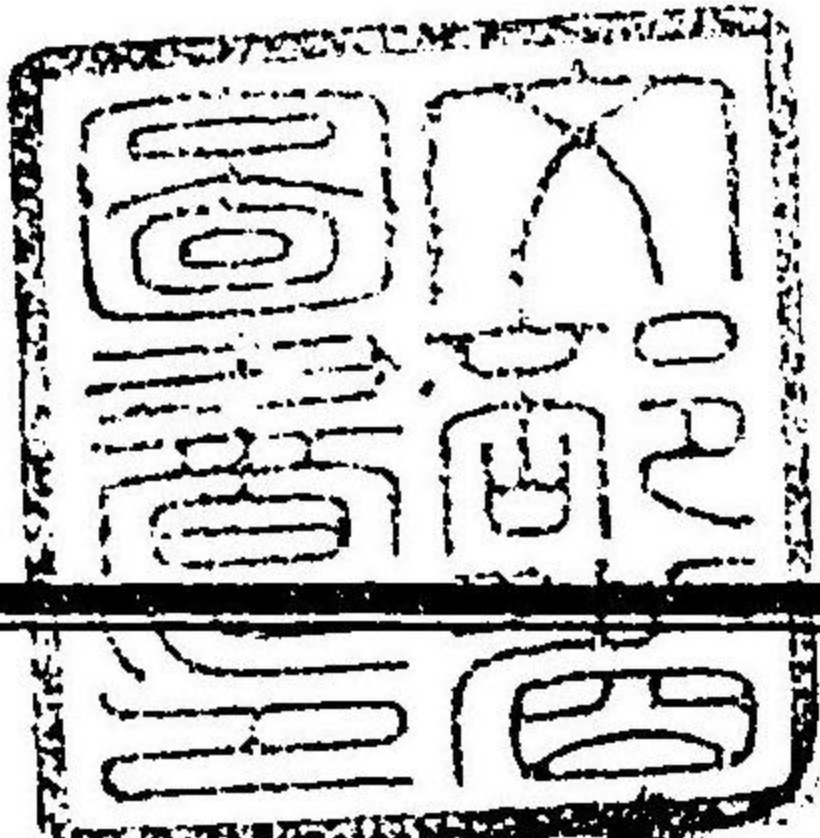
世界風俗往來

卷之初

序

弘文堂發兌

特31
636



明治



世界風俗雜考

卷之初

序

弘文堂發行

明治二十六年六月廿九日
增補世界風俗雜考
鍾氏藏版

風 吟
醇 子 一
美 子
吟 子

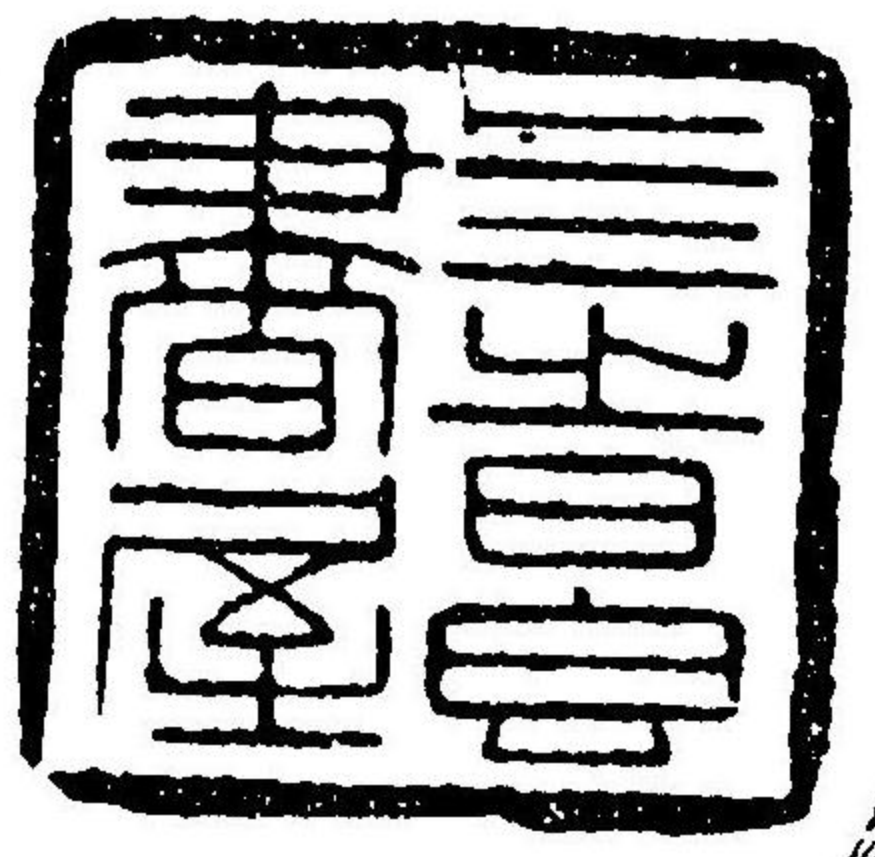
酒の風を吟じて

風吟
吟子

紀元二五三
年六月中
浣三時書

紀元二五三年六月中浣三時書

題書

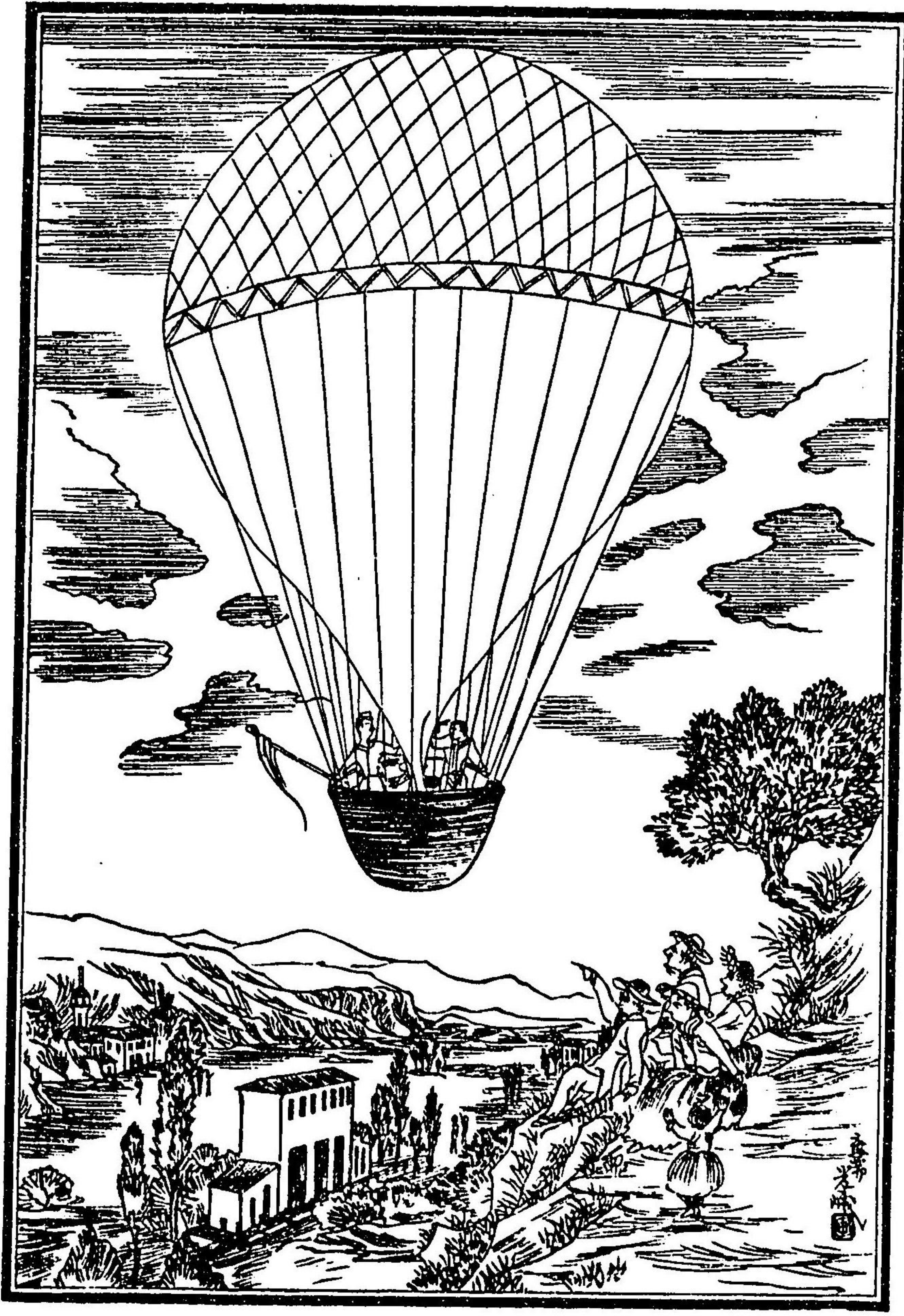


上海圖書館藏



天球圖

天文學



增補世界風俗性

東歐魯巴部

五大洲中風

世界風俗考 卷之六 一 弘文堂發行

世界風俗考 卷之九 邦文堂藏

似れ并化名
耳負ふ歐魯邑
先つ此所の略を

採分け茲り
書載ん其大小
乃國々を通計

邦文堂藏

多如巴十六箇
美吉利佛蘭
西西班牙葡萄

葡萄牙普魯
士奧地利和
蘭比耳時連

世界風俗考 卷之六 引文彙編

國瑞典魯

西五瑞西以太

利希臘土身

古羅馬尼中

子毛英佛普魯

博と五大國と

邦文堂發行

唱とよつなり其その

國こくにづけし風俗

の甲かぶ乙おつ次つぎ身み

様さまとあり有あり

とハいふとけ酒さけ

ハす可か推おしふ

引文堂

心多能事
 我際情象
 道ありて交

易互市
 王公
 磨人

世
 風
 俗
 考
 卷
 之
 五
 三
 才
 堂
 集

國こく 内うち 外と
 此こゝ 隔へだか 亦また 互たがひ
 平へい 縁えん を 結むす ぶ

今いま の 親おや み 廣ひろ
 才さい 風ふう 俗ぞく 也なり 鄰と
 會あひまひ の 一ひと 宅たく 壯たくましく

な樓閣雲なろうかくうん

子連て舟車こつらてふねくるま

の便ハ驚く斗のべんハおどろくたう

萬器械此結まんにがうかいけつ
構も皆精妙かみもみなせいめう
とてたえ免たとてたえめんた

世に傳ふ事
世に傳ふ事
世に傳ふ事
世に傳ふ事

至又大小之
 學校之屬
 子達之設計

諸般之藝
 之之抽
 之之守

そのまゝに
 富の孤獨
 貧
 窮の養育の場

変な病院
 も親お正
 く汲け運く

行 廟やま 寺てら

官かん 仕し 世せ 活くわく 唯たひ

平へい 日にち の 儀ぎ 式しき

な じ 簡かん 易い

主おん 年ねん 定てい

免めん 抄しやう 上じやう 下げ

古今和歌集 卷之九 十一

間者あひだから

は貴たつとき人も

賤ぢやうきとぬ僕ぼく

如ごとく扱あつかひ

唯ただ学がく問もんは

業わざ長たけ子こ

世界風俗誌 卷之初 十二 弘文堂發行

才さい智ち勝しょうぬ
 門もん闕かもな
 尊たうとのま
 人ひとと

あるる身みん卑ひ賤せん
 主し禮れい教きょう
 規き則そく正せい

しゝく 備そあそれと

管かじを 體たい

了りょう大だい竹筒たけとうふらら

す 男おとこ女めづの 權けん
も 備あそふ 一ひと人にん
一ひと夫おとこを 一ひと婦めづ

世尊... 孝... 徳...

妻 ^{めづり} 女 ^{めづり} 女 ^{めづり} 女 ^{めづり} 女 ^{めづり}
お 女 ^{めづり} 女 ^{めづり} 女 ^{めづり} 女 ^{めづり}
婦 ^{めづり} 女 ^{めづり} 女 ^{めづり} 女 ^{めづり} 女 ^{めづり}

之 ^{あた} 間 ^{あた} 睦 ^{あつ} 睦 ^{あつ}
婦 ^ふ 人 ^{じん} 也 ^や 也 ^や 也 ^や 也 ^や
勉 ^{けん} 強 ^{かう} 一 ^{いち} 愚 ^ぐ 愚 ^ぐ
^{おろろ}

世尊... 孝... 徳... 十五...

癩^ち文^{もん}盲^{まう}乳^{ちゅう}女^{にょ}
 乳^{ちゅう}女^{にょ}春^の心^{しん}
 児^こ子^こも^も女^{にょ}親^{しん}訓^{くん}

道^{たう}理^り通^{たう}
 女^{にょ}親^{しん}か^かく^く
 女^{にょ}親^{しん}か^かく^く

追^{おひ} 追^{おひ} 追^{おひ} 追^{おひ} 追^{おひ}
 追^{おひ} 追^{おひ} 追^{おひ} 追^{おひ} 追^{おひ}
 追^{おひ} 追^{おひ} 追^{おひ} 追^{おひ} 追^{おひ}
 追^{おひ} 追^{おひ} 追^{おひ} 追^{おひ} 追^{おひ}

了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう}
 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう}
 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう}
 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう}

了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう}
 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう}
 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう}
 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう} 了^{しやう}

その國の政制せいせい

と常じょうにたら

たふとたふととな

そのりおとのたて

就しゅうれの國こくも
州しゅうの君きん民みん
同どう治ちならず中ちゅう

世界風俗雜 卷之初 張文堂發

獨り音西
 互と士身其ハ
 考治乃風

改の凡殊
 土身令方契多
 し瑞西佛

為^ら東^り西^にを^も共^に和^す
 也^や其^{その}の^の國^のと^の
 威^{せい}儀^ぎ表^{ひょう}名^な古^こ今^{こん}

之^{この}事^の跡^{あと}様^{よう}
 如^{ごと}彼^{かの}形^{かたち}勃^{はつ}
 列^{れつ}翁^{おん}と^と隆^{りゅう}光^{こう}

後諸國經界
 を改定するの
 後比利時

其の概を福主
 たり以て利
 諸部ハ減

世界風俗考
卷之六
引文堂藏書

之尤善為西
者益之強人大
也遂以日耳曼

之統轄一合
年以佛子大
勝一其也

東人各
卷之六
二十三
引文堂藏書

日耳曼皇帝と

多額故に爲

時分名高き

美善佛と指
屈し至る所の中
の關明なる英

吉利と免くわんい分ぶん
 今免いま用もち法ほう
 津政令しんせいを術じゆつ

中ちゆう屬じやくのもののふ
 水みづ人ひと令しん法ほう
 齊せい家かのふ費ひ
みをおさめ

かゝる風俗は
本邦に於ては
法律政令に
あらず

是れ成るに
も風俗は
養育に
あらず

廿五 風俗 卷之六 廿五

存ぞうへへ一いつ時じ
延えん蔓まん又またるる契けい書しよ
もものの風ふう俗じよのの

美みよりよりししそそ
取とり度どししたたるる所しよ
多おほししおおりり

廿五 風俗 卷之六 廿五

治國此戒
 唯風俗
 之壞乃
 始

返くも
 相ま政
 府し體裁
 生

世界風俗考
卷之八
雜考

才女あ有あ如いと

大たい回くわい小せう美み諸しよ

局きよく一いつ宰さい相しやう

うらな

ああららふふ又また

大たい玉たまとと墨すみくくも

有あるる多た總そう之し地ち

世界風俗考
卷之八
二十
八

世界風俗集 卷之七 弘文堂發行

方まく官くわん首しゅを名な
土と俗ぞく民みん情じやう心しん得とく
了りやう身み持もちら宜よろ

しき人ひとをこの人ひと
用もち多おほ事ことの
肝かん要えうと土と着ちやく

世界風俗集 卷之七 弘文堂發行 二十九

し人をも入礼し

私^{みぢ}を^{いれ}用ひ^{きた}て

議^ぎ負^えと^し其^{その}

國^{くに}の^ち茶^{ちや}費^ひを

見^み積^つり^たる

そ^のれ^を租^そ

税ぜいの高たかを衆しゆ
 議ぎを決けつした
 うごて國王こくわう

と許もと可かをとて
 受うけて施せせり
 常じやうしく入いり費ひあ

子財を暮るに
 議を國中
 する時を牛の舎

する事もあつ何
 時を議負し
 評議よる紙

世界歴史 卷之七 新編 張文堂 著

幣を造り民
間を通用せし
免利是を

官を集めて用
を充つ政府を
信するあり

世界歴史 卷之七 三十三

侯の都の正金同
 様よ通用する
 も埋りやこれ

幕方財を二國
 債と云ふ事
 なき年なり

返属を例

とあり英國を

八富強を海

判あゆむと國債
今も三十六
億三千万弗

十月五日

戦争も昨年の
戦争より増
倍り有り
佛國

三十一

す
債乃高其
倍り
有るの國
も

三十一

十月五日

債 さい 多きく凡 し

無 む りけまかく

経 けい 済 すい 一 一 要 よう 務 む 力 りき を

たすむる

も議 ぎ 院 いん の評 ひやう 議 ぎ

主 しゅ と多 た 分 ぶん の議 ぎ 院 いん

一 一 權 けん 一 一 師 し

此の如く理^りなる
 然^{ぜん}とあ^ある^るれ
 あら^ある^る知^ち識^し

此人^こら^らが^が後^ご院^{いん}
 出^い度^どあ^ある^る由^ゆ
 空^{くう}海^{かい}と^とい^いハ
ヤクハタル由

なげぬるも自然ぜんぜん
 黨興たうるも立ち勝かつ
 手てその争まう論ろん

れ烈れつるは右みぎ
 と戦いくさと調いっぴるは左ひだり
 志しの心こころを國くに

とため利あり
事と形あり
かゝる成り

まをぬ説せうか
と神と志しん詢ゆんを
る所ところ一途いつとり

了君臣の取捨
くしん せいゆ 一ひ 一か
 公の行程能
おん せいりやう せいとく せいとく
 之れを施せむ
これ せむ せむ

雖使其人代
た とも せり ひと かわ
 とも 孝子返り光る
とも けうし へり てる てる
 命の受取
いのち け け

生老のるす物
 下儀倫の南端
 こと多細記

し世々廣く新聞
 疾のりて出
 けり四方に傳へ

物も色み隠せ

る事平もふ一佛

蘭西國を殊

斗をた書意与分れ
了或書意の君屋主
し統を推之

福ふくととと言いをを感かん
またまた氏し権けんとと
主張しゆぢやうとと論ろん

ままぬぬ軌き合あひ
とと水みづ火かとと如ごとし
風ふう情せい也なり竟つひもも

世に
世に
世に
世に

私怨しげんを重念しげんみ
 政府せいふを犯まがしんせん
 もとのゆゑに
せいふ まが せん

その諸しより乱みだれ
 乃な本もととあるをこの
 ねまのく

古今圖書集成
藝文典
第...卷
第...頁

兵士の編制は何
事れ者より
兵士たらん
と

原の出る其
種をと言
了年限極め

世
田
...

了奉職を又

あゝ國を人の為の

年丁壯及び

十六より三十まで

がもの一人殊さ
は闔取らせ兵
士となすを好ま

世界風俗誌 第三卷 第三十回 第三十回 第三十回

ぬる財を出
て代任を入
る免る例もあ

ぬ又府縣学校
も政府の命
に人民を強

世界風俗誌 第三卷 第三十回 第三十回 第三十回

て教養をせむ

あはれ又善を

教育の道理

を諭し自の

ら人の心を

導きしを学ぶ

道^{みち}行^ゆ赴^{おもむ}ん
 事^{こと}を勢^{つと}むる
 風^{かぜ}も安^{やす}ら^しれ

政^{せい}風^{ふう}は^はお^お違^{ちが}ふ
 里^{さと}一^{いっ}回^{ぱい}より^{より}ぬ^ぬ事^{こと}
 有^あり^り又^{また}教^{きょう}法^{ぽう}

有様な事
 九
 耶
 佛

富田
 英
 善
 新教
 西
 無
 事

五十一
 引文選錄

腦教と信りーま けう
 たり凡おほくあけう派え
 と分ぶんきしも原もとハ

人種と産じん ぶ同いと
 り出いでたりものものと
 傳つたへたり各おの國くに

邦文堂發行
 五十二
 邦文堂發行

王位を以て男
 女を同に嫡
 子と相續せしむ

日本例多し
 佛也日年男
 列國ハ男子

世界風俗雜考
 卷之六
 五十三
 引文堂發兌

眼も定めの也總まへ
 女王も来たるきよと
 他の王屬也ほの
まへ

迎へたる公婿むかひ
 名王は権威けんい
 なく位爵ゐ
むかひ

上院かみいんより参興まゐり

を多おほく傷多おほく

王位わうゐを継つげらる

事ことなりらつきら右みぎ

今いまより事こと跡あと多おほく

けれどく茲いまより精こころ

君^{きみ} 敎^{かき} 養^の 育^の 成^の せ ば 君^{きみ}
 民^{みん} 同^{どう} 治^ち し 國^{くに} 振^{ふり}
 り も 其^{その} 血^{けち} 統^と 一^{いつ}

考^{たふ} と 一^{いつ} 匹^{ひつ} 夫^ふ
 の 王^{わう} と な ず 了^{りょう} 倒^{たふ}
 名^な 那^な 勃^{はつ} 勃^{はつ} の 骨^{こつ}

五十六
 五十六
 五十六

より行の行一又

兩國を合併し

一王を以て治む

る多々の例多

き事一とさく或

國王を名邦

一 世 二 世 三 世
一 世 二 世 三 世
同 一
代

數 名 法 行 代
了 例 也 有 者
生 樣 乃 事 柄

千手屋不名才 三三系

弓之屋三子

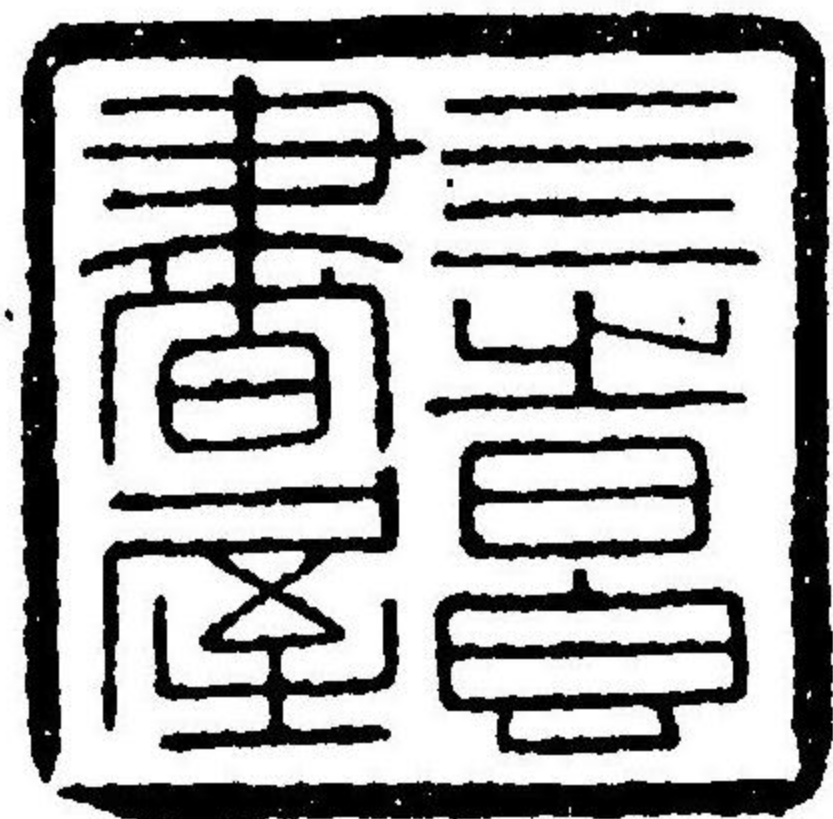
本史了就了
知へと姑く
茲へ筆

止め
止ぬ
明治六年
月中旬旬

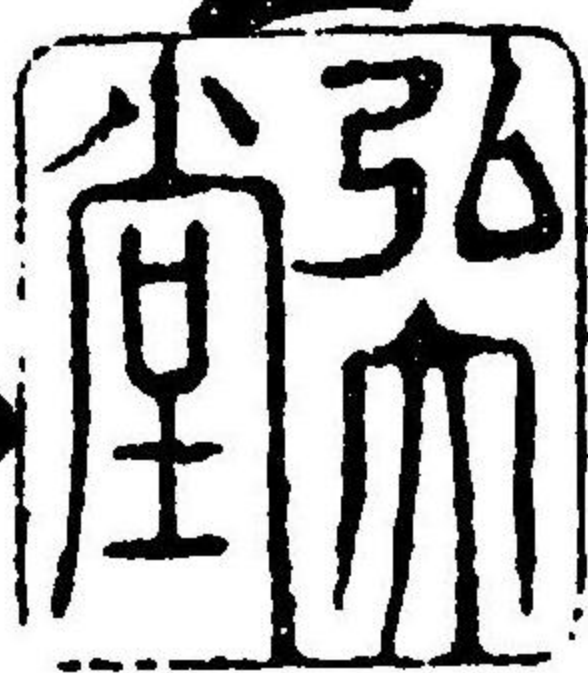
五十九 弘文堂發兌

新西園集

書



東京弘文堂
發行



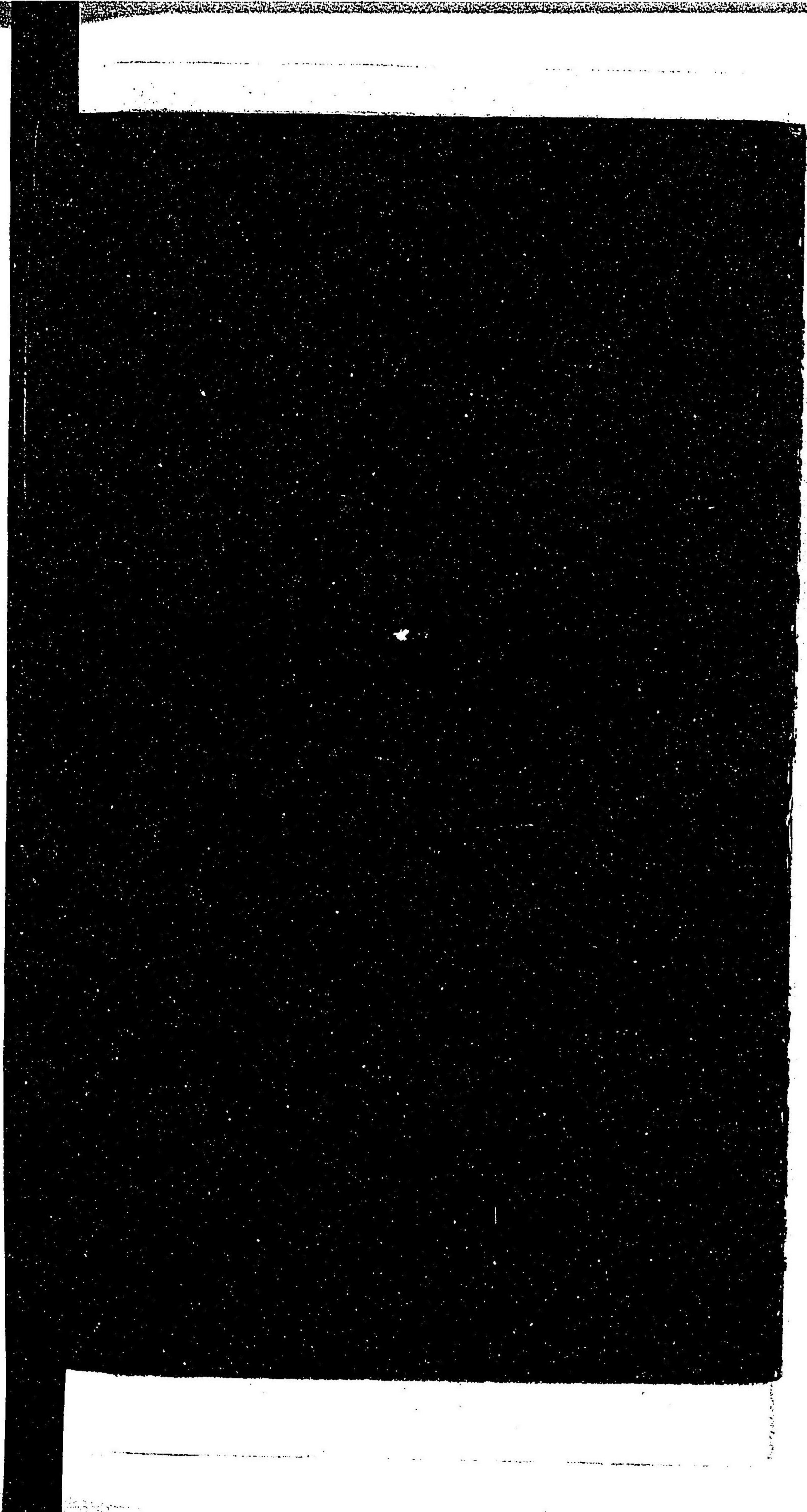
大日本

書林

西京 同 大坂 同 東京 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

勝村治右衛門
吉田喜平次
秋田屋太右衛門
定丸屋八平
須原屋茂兵衛
山城屋佐兵衛
岡田屋嘉七
和泉屋市兵衛
紀伊國屋源兵衛
和泉屋金右衛門
出雲寺萬次郎
梶屋喜兵衛
三家村佐平發兌

大傳馬町二丁目



大日本教育會館藏
二四函
二架
八號
一册

特31

636

一
本

027348-000-4

特31-636

世界風俗往来

弘文堂

M6

ADJ-0103

